

2022年10月13日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

情報銀行「Dprime」による共創プロジェクトの新商品完成について

Dprime Lab

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長：長島 巖^{ながしま いわお}）は、情報銀行サービス「Dprime」における共創プロジェクト Dprime Lab において、プロジェクトの第一弾として、個人ユーザーからのデータ提供により、廃棄食材を活用したサステナブルビール「WASTE 2 BEER」を開発し、本日メディア発表会を開催しましたので、お知らせいたします。

■商品共創プロジェクト「Dprime Lab」詳細

Dprime Lab は、パーソナルデータを管理・運用する情報銀行サービス「Dprime」において、個人ユーザーがデータ提供により、企業と社会課題解決に資する商品を共創するプロジェクトです。「Dprime アプリ」を利用する個人ユーザーと企業が共に、社会課題解決に向けた商品・サービスを創るプロジェクトとなります。

プロジェクト第1弾は、AJB Co.（代表：Thomas Livesey（トーマス・リヴシー））による「あなたのデータと廃棄食材で創る新感覚クラフトビール」の開発です。Dprimeを通じて個人ユーザーから提供される多様なデータをもとに味の調整を行うことはもちろん、廃棄予定食材の活用を通じて、フードロス削減にも取り組みました。

■完成商品「WASTE 2 BEER」について

Dprime のデータから聞こえてくるお客様の声をもとに、4種類の廃棄予定食材を使ったビール・パイロット版を作成。そして2022年10月、ユーザーデータを活用し、フードロス削減にも貢献する「WASTE 2 BEER」が完成しました。

今回、4種類のクラフトビールの材料は グレープフルーツジュース、グレープフルーツピール、カカオハスク、パイナップルジュースです。

【各商品の特徴やプロジェクト詳細について】

<https://www.tr.mufg.jp/dprime/lab/01/>

■新プロジェクトも始動

DprimeLab 第二弾として、以下 2 つのプロジェクトを 10/14 より開始します。今後さらに対象を拡大し、企業の新商品開発やマーケティング戦略を支援してまいります。

①伝統技術×データで共創する最高のグラス・酒器等の開発

<https://www.dprime-mutb.jp/lab/02/>

②ロスフラワー×データで創る癒しのオフィスアイテム開発

<https://www.dprime-mutb.jp/lab/03/>

今後も三菱 UFJ 信託銀行は、信託機能と新しいテクノロジーの積極的な活用を通じて、様々な社会課題の解決に貢献してまいります。

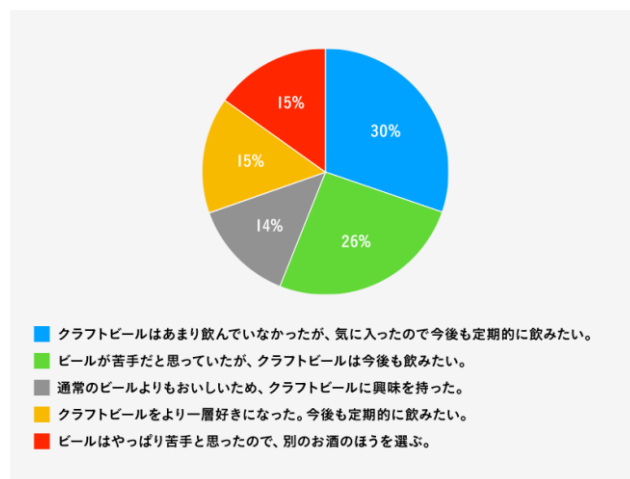
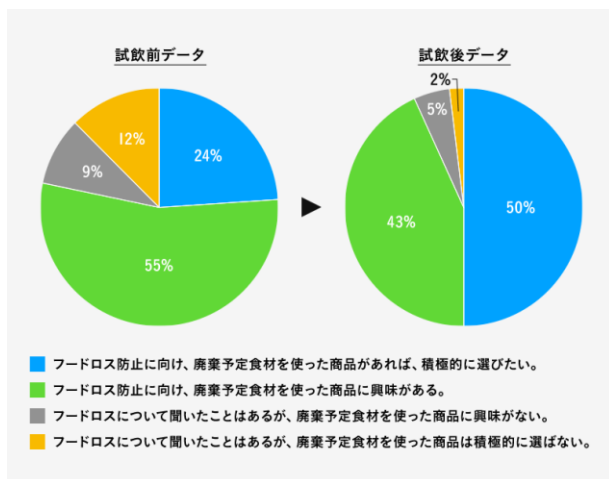
以上

<ご参考>

■プロジェクト参画者へのアンケート結果

《フードロスへの関心度合いの高まり》

《苦手だと思っていた商品への態度変容》



※レポート内容詳細については、上述の HP にも掲載しております

■完成商品の発売を記念したキャンペーンも実施中

Dprime ユーザー限定で、「WASTE 2 BEER」を抽選でプレゼントするキャンペーンを 10/25 迄実施中。

<https://www.dprime-mutb.jp/lab/01/present/>

■キャンペーン、プロジェクトへの参画方法

①アプリをダウンロード

②データ登録等

③対象メーカーへの応諾



■情報銀行サービス「Dprime」とは

アプリに登録したデータを企業・団体等に渡すことで、個人ユーザーは様々な特典が受けられることはもちろん、上記のようなプロジェクトを通じて、社会課題解決に向けた商品・取組等を応援することができるサービスとして展開してまいります。

登録したデータを渡す企業・団体等は、自分の意思で選べることはもちろん、氏名・連絡先等といった個人特定可能なデータは企業・団体等へはお渡しせず、分析等に必要データのみお渡しする仕組みです。

企業・団体等は、個人から提供されたデータを活用し、社会課題解決に向けた商品・取組等に生活者の声を取り入れることで、より質の高いサービスを提供することが可能となります。

Dprime は、顧客へのプライバシーを保護しながら、個人ユーザーと企業・団体等とのデータによる共創を通じて、社会課題解決に向けた取組へ貢献していきます。